

第28回 丹波篠山ビデオ大賞

グランプリ部門 ノミネート作品紹介

テーマ「生きる」

No	作品名・作者名	作品の概要	作品の1シーン
1	ふたりだけの学校 大野 進二さん (山口県山口市) タイム 6:58	山口県で1番少ない学校となった嘉年小学校は、6年生と3年生の2人だけ。子どもたちは協力し合って学校行事をこなし、地域も2人を温かく育ててきた。しかし、卒業が子どもたちと地域に大きな影響を及ぼした。	
2	歩み 篠山東雲高校 (篠山市福住) タイム 4:54	将来の夢や希望がないままに、高校に入学した生徒たち。農業を通して、人と人とのつながりや、植物、動物との関わりを強めていく。少しずつ成長し、1歩ずつ歩いていく高校生たちの成長を描く。	
3	夕日の国から来た少女 岡山学芸館高校 (岡山県岡山市) タイム 5:01	生徒が始めた「タイ・カンボジアプロジェクト」によって、1年間日本に留学するリン・スライトイツさん、14歳。現地の情勢を調べたり、彼女に密着したりすることで、私たちが今生きて勉強できることが当たり前ではないと気づかされた。	
4	ニ・六・ニ NAGA・B.C.C (和歌山県岩出市) タイム 5:11	和歌山県北部の町、かつらぎ町。四郷地区は400年の歴史を誇る串柿づくりの里。鏡餅の上に飾られる串柿は“いつもニコニコ仲むつまじく”という願いを込めた数合わせでできている。伝統を守り伝える人を追ったドキュメンタリー作品。	
5	蕎麦がつなぐ人の縁 阪下 千代美さん (篠山市西谷) タイム 6:52	藤本定一さんは定年退職後、蕎麦打ちの技術を習得。長年のつきあいの男性5人が藤本さんの上達を生かすため、いつも集っている場所を改装して店を始めた。蕎麦の提供だけでなく、お客さんに寄り添い、目標や生き甲斐を持つ姿を描く。	
6	山あいの村がともす灯り 静岡大成高等学校放送部 (静岡県静岡市) タイム 7:00	静岡県藤枝市瀬戸ノ谷にある峠地区には、1年に1度、白熱球のイルミネーションで彩られる銀杏の木がある。この木にイルミネーションを飾るのは、この地域で「親父さん」と呼ばれる方たち。この方たち取材した。	
7	ともに生きる NPO 法人里地里山問題研究所 (篠山市大沢新) タイム 6:58	豊かな里山とそれらに調和した人の営みを継承していくために、地域と都市が一带となって獣害に立ち向かう。そして、人と人とのつながりによって、豊かな里山を守る。	